「紙芝居がやってきた！」

4月24日（土）～7月4日（日）

町田市民文学館ことばらんど
10時～17時　入場無料

＊月曜・第2木曜休館（ただし5月3日は開館）

この春、町田に〝紙芝居〟がやってきます。

皆さんは、〝紙芝居〟といって思いつくことは何でしょうか？　太鼓や拍子木の音、駄菓子の味を思い出すのは、おじいちゃんやおばあちゃんの世代でしょうか。保育園や幼稚園の先生の顔を思い起こすのは、小学生や中学生の若い世代かもしれません。

でも、目を見開いて、時には、口までポカンと開けながら、身じろぎもせずに夢中で見た懐かしい記憶は、誰もが同じように思い当たることでしょう。

そもそも、紙芝居はどのように誕生したのかご存知ですか？　なんと、その源流は江戸時代までさかのぼることができます。そして様々な変遷を経て、昭和5年頃に「平絵（ひらえ）」と呼ばれる、現在の紙芝居が生まれました。

紙芝居はあっという間に大人気となり、自転車に乗ってやってくる紙芝居屋さんの拍子木の音を、多くの子どもたちが心待ちにしました。「黄金バット」や「鞍馬天狗」、「墓場キタロー」などを懐かしく思い出す人も多いことでしょう。これがいわゆる〝街頭紙芝居〟です。

しかし、子どもの好奇心をあおる、刺激の強いものが盛んに作られるようになり、大人たちから批判を浴びるようになっていきます。

また一方では、紙芝居の影響力を教育に活用しようという動きもでてきます。これが、現在の保育園や幼稚園で行われている紙芝居に通じる〝教育紙芝居〟の始まりです。

紙芝居のメディアとしての有用さは誰もが認めるところとなり、戦争が始まると、国民に戦争協力の思想を教化するための手段として用いられます。

戦後はGHQの検閲の下、民主主義思想等を広めるための紙芝居が作られ、一方で、荒んだ戦後社会の子どもたちを楽しませるために〝街頭紙芝居〟がいち早く復活、あの「黄金バット」も再登場します。

その後、テレビの普及や子どもたちの生活環境の変化とともに〝街頭紙芝居〟は衰退。街角からは紙芝居屋さんの姿は消えていきました。

そして、現在。

ふたたび紙芝居が注目されています。なぜでしょうか？

本展では、紙芝居の歴史をひもときながら、その懐かしい世界と新しい発見をお見せしたいと思います。

むずかしい説明は不要です。家族みんなで昔から現在にいたる様々な紙芝居を見て楽しんでください。

そして、再び脚光を浴びている紙芝居のもつ魅力の秘密を、皆さんそれぞれに解き明かしていただければと思います。

関連イベント
土曜紙芝居上演会

日時 5～6月の毎週土曜日午後2～3時
会場 町田市民文学館2階展示室「スペースふみくら」
上演 町田かみしばいサークル「ふわふわ座」
内容 毎回違う作品を上演します。
対象 興味のある方はどなたでも歓迎です。
申込み 不要。直接会場にお越し下さい（席数15席）。
問い合わせ 町田市民文学館ことばらんど（〒194-0013　原町田4-16-17　☎739・3420）へ。

中国・韓国から教育視察団が訪れました

昨年の12月14日、日中相互の交流や研究の機会を通して教育の充実発展を図るため、中国・北京市朝陽区の教育行政の責任者を中心とした教育視察団が図師小学校と鶴川中学校を訪れました。

図師小学校では、地域のボランティアの方が本を読み聞かせる様子や音楽や体育の授業を見学、また、学校給食等を体験し「市の教育の充実ぶりに大変感動した」と話していました。

1月27日には日本の学校の授業を参観し、教材や教具、指導技術等について学ぶため、韓国の小学校教員を中心とした教育視察団が金井小学校を訪れました。授業参観は同時通訳により行い、「低学年の子どもたちも、しっかりと話が聞けている。先生の問いかけも優しく丁寧で素晴らしい」との声が上がりました。

職員との懇談では、規範教育のあり方や教育問題への対応方法など様々な意見が交わされ、活発な交流が行われました。

▶地域のボランティアによる本の読み聞かせ（図師小学校）

▶授業参観の様子（金井小学校）

第1回中学生「東京駅伝」

チーム町田『心をひとつに襷（たすき）をつなぐ！』チャレンジ

本日3月21日、区市町村対抗の第1回中学生東京駅伝がスタートします。中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興を目的として、都内の中学2年生を対象に行われます。

チーム町田の選手たちは、この日まで自分の目標タイムを設定し、一生懸命練習して、記録向上を目指しました。2月14日（日）には、会場となる中央区晴海埠頭特設会場で試走会を行い、本番に向けての意欲を高めてきました。中学校の陸上部の先生たちも、何度も打ち合わせをして、休日の練習を指導しました。

また、町田市立陸上競技場が改修のため、三井住友海上玉川研修所グラウンドを練習場としてお借りする等、皆さまに、ご支援ご協力をいただきました。

今日の本番では、チーム町田の同じ鉢巻、ユニフォームで走ります。今まで積み重ねてきた一人一人の努力を襷（たすき）でつなぎ、精一杯チャレンジします。

▶試走会の様子

～選手からのコメント～

男子キャプテン
吉村佳祐さん（金井中学校）
僕たちチーム町田は、上位入賞を目指して、今までがんばってきました。当日は、チーム一丸となって精一杯走りますので、応援よろしくお願いします。

＊　＊　＊

女子キャプテン
関根花観さん（金井中学校）
私たちは町田市代表チームの一員としての自覚をもち、日々の練習の成果を本番では発揮したいと思います。一人一人の思いをたすきにこめて一秒でも速く走れるようにがんばります。皆さん応援よろしくお願いします。

町田市教育委員会　教育目標

2010年度（平成22年度）

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。

また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。

基本方針1　子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成
日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、人権尊重を柱とする町田市子ども憲章の趣旨を生かして、次代を担う子どもたちに、将来の職業や生活を見通して社会の中で自立的に生きる力や生涯にわたって学び続ける意欲、健やかな精神や豊かな心をはぐくみます。

基本方針2　学校の教育力の向上
様々な教育課題に対応し、子どもたちにとってよりよい教育を進めるために、教育環境を充実・整備し、教師の指導力を含めた学校の教育力の向上を図ります。

基本方針3　家庭、地域、学校が連携した教育の推進
保護者や地域、関係諸機関と学校とが連携した健全育成などの教育の取組を進めるとともに、情報発信や公開、学校評価を充実し、信頼される学校づくりを進めます。

基本方針4　生涯学習の推進
市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を進めます。